

◆◆「新しい川崎」メール版◆◆

－2024年5月14日第124号－

<目次>

●川崎民主市政をつくる多摩区の会の「川崎市政学習会」報告

■川崎でも学校給食費の無償化実現をもとめて相談会を開く

▲お知らせコーナー

- ① 5/18 映画「教育と愛国」上映会
- ② 5/18～加齢性難聴問題入門講座（全3回）
- ③ 5/18～19 川崎郷土市民劇「100年への贈り物」
- ④ 5/19 台風19号多摩川水害学習会と総会
- ⑤ 5/19 公害・環境、健康、まちづくりフェスタ
- ⑥ 5/25 ゆめシネマ上映会「ただいま、つなかん」
- ⑦ 5/31 川崎市議会開会・第2回市民要求実現アクション
- ⑧ 6/9 平和をきづく市民のつどい

★編集後記

●川崎民主市政をつくる多摩区の会の「川崎市政学習会」報告

4月26日、川崎民主市政をつくる多摩区の会は川崎市政学習会を開きました。

2021年の市長選挙が終わっても、全市の川崎民主市市政をつくる会は活動を中止せず、新たな方針として4年間を通していまの市長に代わる新しい市政をめざして活動することを決めています。

そして、今年の1月に開いた幹事会では、1年後にせまった市長選での大飛躍を実現するために、各区の民主市政の会を早期に再開をすることを決めました。

なぜなら、各区の会の地域にねざした活動が155万市民の要求実現をめざすうえで必要不可欠であり、その活動を通して市長選挙を市民とともに進めるセンターとなるという位置づけをしたのです。

まず、4月19日に、中原区の会が全市に呼びかけて、「安心と希望のまちづくり」をテーマに、岡田知弘（京都橘大学）さんの講演会を開き、地方自治の主役はわたしたちとの確信を深めました。

これに続いて、多摩区の会が「川崎市政学習会」を開きました。

以下は、多摩区からのレポートです。

市長選挙は来年10月、まだ候補者も発表していない時に、大きな規模で区の集会を開くのは、多摩区でもあまりなかったことです。

それでも、あえていま開催したのは、今の市長の市民に冷たいやり方があまりにひどいの多くの市民がそれを知らされていない。

だから、それをいかに多くの人に知らせるかということを学習し、確認することに大きなねらいがありました。

この日は、あいにくの雨の中にもかかわらず、川崎民主市政をつくる会に加盟する団体から60人の方が参加しました。

集会は、まずペロ中島さんのプロかと思うようなギター漫談から始まりました。

現在の自民党政治や川崎市政に対する風刺の効いたネタで大笑いしました。

次に、井口まみさん(日本共産党川崎市議)が、今の市政の問題点と、それをどう変えるかを、45分かけてかけて報告しました。

「市長が代われればこんなに変わることができる」と言うことがよくわかりました。

井口議員の市政報告の後には、各参加団体が「今一番市政に対して言いたいこと」を寸劇にして次々と発表しました。

- ・子どもの医療費は高校生まで無料に！
- ・介護保険料を下げてください！補聴器に補助を！
- ・建設労働者にまっとうな賃金を！
- ・生田浄水場の復活を！

どれも切実で共感を呼ぶものばかりでした。

セリフが出てこなくてハラハラする場面もありましたが、それもまた楽し。参加者からは大きな拍手がありました。

盛り上がった集会も無事終わり、参加したみなさんが口々に「楽しかった。

市長変えようぜ」と声をかけあいながら帰ってゆきました。

■川崎でも学校給食費の無償化実現をもとめて相談会を開く

全国で491自治体を実施している学校給食費無償化を川崎市で実現させるための相談会が、5月12日に開かれました。

よびかけは、ゆきとどいた教育をすすめる川崎市民の会です。

昨年9月4日に、11,992名の賛同を得て、川崎市議会に提出した「学校給食費の無料化」請願は、11月21日市議会文教委員会で審議され、採択3名、継続8名の評決で、継続審議となっています。

その後、2月市議会で再審議されることもなく、このままでは、「継続」という棚ざらし状態になることが危惧されます。

<給食費無償化の運動をどう進めるか>

この日の相談会では、「なぜいま学校給食費の無償化を求めるのか」と「要求実現のためにどう取り組むか。」を中心に話し合いが進みました。

3人の小学生の母親は、「3人目を妊娠した時、3人を大人にするまでに、いくらかかるのだろうか、その上、自分たちの老後の資金まで出せるのだろうか、とうてい無理だと不安になった。

お金の心配なく、安心して子どもを産んで大人にするために、大学の学費ほど大きくはないが、給食費の無償化が第1歩になると思う。」と発言。

高校生をもつ母親からは「娘が小学生のとき、自校調理方式の小学校の給食がとてもおいしいと言っていた。

子どもが喜んで、給食の話をするのが、とてもうれしかった。安心して安全な給食を子どもたちに食べさせたいという広範な支持を集められる運動であってほしい。」と発言。

<そして、運動の進め方では、次のような方向での合意ができました。>

- ・「学校給食費の無償化をすすめる会(仮称)」を新たに立ちあげる。
- ・子育て現役世代とシニア世代が協力して運動をすすめる。
- ・6月23日(日)10時から、発足のつどいを開く。(会場は、幸区の産業振興会館の研修室、50名以上の参加が可能)
- ・署名項目は、「学校給食費の無償化を実施」の1項目とする。
- ・署名の目標は、2万筆以上とし、12月市議会に提出する。同時に、ネット署名も実施する。

<子育て支援策の充実を、川崎のまちづくりの根幹に据える>

川崎市からの回答(共産党市議団の調査)では、全校実施の総合計予算は、約58億4千万円とすることがわかりました。

校種別では、小学校 約40億7千万円、中学校 約17億1千万円、特別支援学校 約6千万円です。

これは、川崎市の一般会計 8712 億円の 0.7%です。

奈良女子大学の中山徹教授は、2022 年に行った川崎市内の講演会で、次のように警鐘をならし
ています。

「川崎市の人口動向をみると、社会増が大きく落ち込んでいる。

川崎が都市の魅力でなく、単に利便性の良さで選ばれている場合、首都圏への転入圧力が低下
すると、想定よりも早く人口減少になる可能性がある。

子育て支援策の充実、都市の魅力向上に取り組まないと、川崎は『通過都市』になりかねない。」
2023 年の人口動向では、中山教授の警鐘通りに、子育て世代の市外転出がさらに増加していま
す。(メルマガ 121 号で指摘)

子育てするなら川崎で！ 新たに始まる「学校給食無償化運動」をぜひ応援してください。(H)

★お知らせコーナー

①映画「教育と愛国」上映会

教科書で”今”何が起きているのか

5/18(土)

総合自治会館ホール

資料代 800 円

主催教科書を考える川崎市民の会

連絡先 040-5574-8006(畑山)

[詳しくはこちら](#)

②加齢性難聴問題入門講座 (全3回)

いずれも 13 時半から

かわさきゆめホール

1. 5/18(土) 講師 横須賀共済病院・杉原恵子さん
2. 6/8(土) 講師 川崎市議会議員・渡辺学さん
3. 6/13(土) 講師 年金者組合県本部・伍俣子さん

参加費 1回 500 円

連絡先 川崎市社保協 044-266-7532

③川崎郷土市民劇「百年への贈り物」

一川崎市誕生物語一

作:小川信夫

演出:鈴木龍男

幸市民館

5/18(土)11時 16時

5/19(日)14時

指定席:3,500 円

一般自由席:3,000 円

障がい者学生以下:1,000 円

044-544-3711

k,shimingeki@gmail.com

[詳しくはこちら](#)

④台風 19 号多摩川水害学習会と総会

5/19(日)10時~12時

川崎市総合自治会館ホール(武蔵小杉下車)

連絡先 船津(044-434-4290)

⑤公害・環境、健康、まちづくりフェスタ

5/19(日)11時~15時

JR 武蔵溝口駅前ペディストリアンデッキ

問い合わせ:044-211-0391

[詳しくはこちら](#)

⑥ゆめシネマ上映会「ただいま、つなかん」

5/25(土)

① 9時② 12時③ 15時④ 18時

一般:1000 円

障がい者：500円

学生以下：1000円

お申込み

かわさきゆめホール：044-433-3003

cinema@kawasakiyume.com

[詳しくはこちら](#)

⑦川崎市議会開会・第2回市民要求実現アクション

5/31(金)12時~13時

市役所前広場

連絡先 いのちと暮らしを守る川崎市民連絡会

市古 090-7830-8030

⑧平和をきづく市民のつどい

記念講演：羽場久美子氏(13時半より)

「アジア諸国と協力して日本の未来を」

6/9(日)10時~15時

川崎市平和館

入場無料

[詳しくはこちら](#)

★編集後記

「3年B組金八先生」で知られる小山内美江子さんが94歳で亡くなりました。

1979年にTBS系のテレビドラマとして、金曜日の夜8時からの放送でした。

社会問題を正面から扱い、子どもたちの人格、人権が尊重されるべきだという、今では当たり前になりつつある価値観を前面に押し出して、深い感動を呼びました。

教育に強い関心を持っていた、青春時代、夢中になって見たことを思い出します。

小山内美江子さんは、1991年、学生たちを主体としてヨルダンやカンボジア難民の支援活動をは

じめました。

1993年、「JHP・学校をつくる会」を結成、その代表を務めて、カンボジアに学校をつくる支援活動に力を注ぎます。

JHPは、JAPAN TEAM OF YOUNG HUMAN POWERの略。

カンボジアを主な対象国とし、「学校」や「教育」をテーマに、人道的な支援を志す心若い人々が集まるNGO/NPOとして活動しています。

320を超える学校を建設し、教員の育成にも力を入れています。

10年程前、神奈川女性9条の会でお目にかかったとき、JHPのスタッフを伴って参加されていたことを思い出します。

鶴見駅前での憲法集会でお目にかかったのはコロナ前だから5年ほど前、心よりお悔やみ申し上げます。(Y)

☆☆チェンジかわさき！☆☆

川崎民主市政をつくる会

〒211-0011 中原区下沼部 1880

お問い合わせ

mailmag@newkawasaki.jp

公式ホームページ

<https://newkawasaki.jp>

☆☆チェンジかわさき！☆☆

配信を希望されない方は以下をクリックしてください。

自動的に登録を解除します。

https://my922p.com/User/cancel_mail/fMwwpqj4/1mS6spO1KNeG?mail=talosxxx%40gmail.com

誤って登録解除した場合、以下より再度登録をお願いします。

<https://my922p.com/p/r/fMwwpqj4>